

市民の手で市民活動を支える  
特定非営利活動法人  
**宝塚NPOセンター**

**通信**  
**No.51**  
2007.5.20

**法人設立 10 周年に向けて より実践的人材育成を 事務局長 森 綾子**

昨年度は大変革を迫られた年でした。まず、震災復興基金で行っていた生きがいごとサポートセンター事業が 680 万円削減され、1,700 万円事業になったこと。そして、私が右腕としていた山本次長の退職。この二つの大事件により、規模の縮小という大変革を迫られました。また、保育ルームの経営も重たいものがあり、継続するかを決断の時期でした。まず、ソリオ 3 の 4 階にあった生きがいごとサポートセンター阪神の事務所を閉じ、元の宝塚 NPO センターへ戻ることになりました。それで事務所経費を 400 万円節約することができました。保育ルームの経営は、以前からの協働相手である NPO 法人保育ネットワーク・ミルクに全面的に任せることにして、思い切って手を引きました。

人力的には 6 人体制の少数で、組織は小さく小回りのきく大きさにし、基盤を強化することに力を注ぐことにしました。そして NPO の支援を行うことを専門とし、それらたくさんの NPO をネットワーク化し、NPO セクターを世の中に根付かせるという初期の方針に戻りました。

さて、1 年が経過し結果を見てみますと、まず成果が上がりました。スタッフ 6 名一人ひとりが社会起業家をめざしました。各々が事業に責任を持ち企画実施していくことで、スタッフのやる気と能力の向上を図りました。経営面から行くと 18 年度は大きく黒字です。少数精鋭でなおかつ、理事やボランティアの支援、インターンシップの活用を大きく伸ばすことができました。単なるお手伝いのボランティアやお客様のインターンシップではなく、彼らが責任ある仕事を分担したことで、大きく成長し成果をあげていただけました。おかげでみんなに支えられたこの 1 年でした。



2007 年度(19 年度)に向けてもこの方針を継続するつもりですが、よりボランティアの活用やインターンシップの人材育成を視野に入れたセンターとして事業に組んでいく予定です。19 年度は 10 周年に当たるため、この 10 年の振り返りとこれからの 10 年も視野に入れた事業計画も立てています。いろいろな人がやってきて飛び立っていくセンターではありますが、企業や学校と違う人材育成も行い、世の中に役に立つ人が多く育っていくことを心から願い、かつ実践することを抱負にします。

**宝塚 NPO センター スタッフ紹介 (10 周年にむけて一言抱負)**



**吹曾 幸雄**

人に喜ばれる仕事にめぐり合えて、幸せなシニアライフを送っています。今年も起業と運営相談がんばります。



**金森 康**

事業全体のマネージメントを通して、やはり新規事業開拓にやりがいを実感。CB の新たな発展の為、新企画にチャレンジします。



**小野 靖子**

この仕事も 7 年目。スタッフ皆の仕事が円滑に回るよう、NPO の方々のお役に立てるよう、今年もがんばります。



**田淵 由佳利**

キャリアコンサルタントとして、またセミナー・イベントの全体コーディネートを担当。阪神間の NPO ネットワーク作りが最大課題です。



**白水 崇真子**

この 4 月からお世話になり、シニア・団塊世代担当です。中間支援としての情報発信、就業支援、皆さんのお声を聞きながら手探りでがんばります。

# (特)宝塚 NPO センター 第 8 回通常総会報告

日時 2007年4月28日(土) 13:30~16:00

会場 宝塚市立ソリオホール 第1会議室

参加人数 正会員 113名(うち委任状 76名)

タイムスケジュール

13:30 - 14:45 宝塚 NPOC 総会

15:00 - 16:00 交流会(阪神北 NPO ハウス報告会・表彰式)

たくさんの  
ご参加ありが  
とうございま  
した!



## 平成 18 年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算について

### 2006 年度非営利活動に係る収支計算書

・経常収入の部	金額 (単位:円)
寄付金収入	1,326,702
助成金・補助金収入	19,490,000
会費収入	1,908,000
事業収入	9,178,048
委託収入	12,090,000
その他収入	12,600
雑収入	317,429
経常収入合計	44,322,779
・経常支出の部	
自主事業費	6,363,253
子育て支援事業費	775,202
インキュベーション事業費	7,142,772
宝塚市民活動促進事業費	5,252,441
生きがいサポートセンター阪神事業費	17,202,356
事業費合計	36,714,024
管理費合計	4,785,736
経常支出合計	41,499,760
経常収支差額	2,823,019
前期繰越収支差額	10,408,139
次期繰越収支差額	13,149,158

(2006,4,1~2007,3,31)

### Point

前年度の赤字決算を脱却し、今年度は、2,741千円の黒字となりました。これは少数精鋭主義に徹し、スタッフを補充しなかったことが主な要因です。

更に、生きがいごとサポートセンター阪神事業(CDC事業)が委託事業から補助対象事業に変わり、合わせて予算規模が23,200千円から17,000千円に縮小されたことに伴い、生きがいごとサポートセンター阪神北の事業所を宝塚NPOセンターに統合しました。これにより、費用節減の効果が生じたこと、又補助事業になったことにより、消費税が軽減されました。

当初予算額に比して、補正後予算額が4,905千円増加したのは、バスマップ事業及びミニ宝塚事業等の受託によるものです。



## 平成 19 年度特定非営利活動に係る事業計画・事業会計収支予算について

### 2007 年度特定非営利活動にかかる事業計画および収支予算書

	事業内容 (2007,4,1~2008,3,31)
自主事業部門	NPO 啓発
	NPO 相談・支援
	ネットワーク支援
	協働のまちづくり
	若者・子育て支援事業
	インキュベーション・センター事業
市民活動促進支援事業	NPO 法人設立相談・支援
	NPO 法人運営相談・支援
	市民団体などのコミュニティ・ビジネス起業・経営相談
	まちづくり協議会等のコミュニティ・ビジネス起業・経営相談
	まちづくり協議会関連事業情報発信支援
	啓発講座・交流会
	エコマネー支援業務
生きがいサポートセンター	NPO・コミュニティ・ビジネスの起業・運営相談事業
	情報収集発信
	ネットワーキング、交流サロン
	講座、講演会
	就業希望者の能力開発・職業訓練
	コンサルティング事業
	無料職業紹介
	阪神 NPO 連絡協議会

・経常収入の部	金額 (単位:円)
寄付金収入	1,300,000
助成金・補助金収入	20,520,000
会費収入	2,000,000
事業収入	6,270,000
委託収入	8,163,750
その他収入	0
雑収入	150,000
経常収入合計	38,403,750
・経常支出の部	
自主事業費	4,003,000
若者・子ども応援事業費	300,000
インキュベーション事業費	4,013,000
宝塚市民活動促進事業費	5,145,000
生きがいサポートセンター阪神事業費	18,800,000
事業費合計	32,261,000
管理費合計	3,620,000
経常支出合計	35,881,000
経常収支差額	2,522,750
前期繰越収支差額	13,149,158
次期繰越収支差額	15,671,908

### Point

18 年度の子育て支援事業は 19 年度から若者・子ども応援事業として拡充します。

## 役員選任について

任期満了並びに新任に伴う役員を選任が承認されました。  
 現行役員は、平成17年6月1日から19年5月31日までとなっています。  
 今回、寺本理事が3月31日付で退任されました。  
 6月1日付けで新たに鶴丸理事が就任しました。



### 役員一覧

再任	牧里每治（関西学院大学社会学部教授）	再任	森綾子（宝塚NPOセンター事務局長）
再任	竹内浩（宝塚市社会福祉協議会名誉顧問）	再任	金森康（龍谷大学非常勤講師）
再任	江守典子（阪神人形劇連絡協議会会長）	再任	吹曾幸雄 （生きがいしごとサポートセンター阪神北マネージャー）
再任	小西孝彦（兵庫県社会教育委員）	再任	遠座敏明（大阪ガス株式会社）
再任	名取千里（株式会社ティーオーエー常務取締役）	新任	鶴丸悌二（高齢者問題を考える会代表）

### 監事

再任	福間則博（弁護士）	再任	森田義（公認会計士、税理士）
----	-----------	----	----------------

## 定款変更について

無料職業紹介事業を職業紹介事業に変更するとともに、役員任期中に後任の役員が選任されていない場合の役員任期の伸長規定を追加し、総会権能中「事業計画及び収支予算並びにその変更」を理事会権能とするほか、文言の整理等を行うための定款変更を提案し、満場異議なく承認可決されました。

## 特別企画 表彰式「全労済・近畿ろうきん協賛 阪神北NPOハウスNPO応援賞」



- (1) NPO 法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部
- (2) NPO 法人 宝塚モナミ会
- (3) NPO 法人 キララ <http://www.voluntary.jp/kirala/>
- (4) 花束贈呈 高齢者問題を考え行動する会



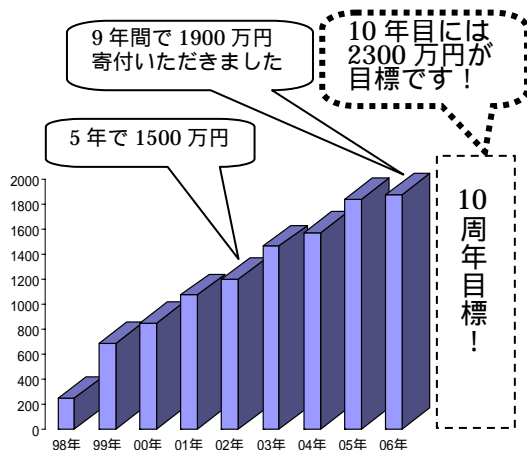
NPO 法人宝塚モナミ会

NPO 法人 キララ

## 2006年度NPO法人宝塚NPOセンター事業報告書より抜粋

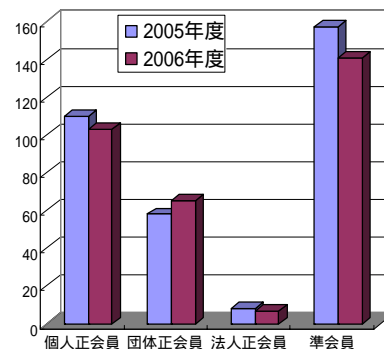
### 寄付

寄付の額が多いのがセンターの特徴です。設立から5年間で1,500万円の寄付でしたが、今回は倍額にはならないものの9年間で1,900万円と多くの人の支援を受けているという成果が示されています。



### 会費

会員に支援されて設立したセンターですので最初は個人正会員146名が寄付と会費を下さって、多くの支援を受けてうまれましたが、9年目は103名と減少しているものの、団体会員が10団体から61団体に伸びているのは、個人が起業され団体の会員に移行した結果です。法人会員が伸びないのがセンターの弱点です。準会員はほぼ同数です。会員の増強は課題です。



事務所を  
引越しました！

同じソリオ1の3階で  
すが、会議室の一番奥に  
移転しました。案内板を  
ご覧下さい。

## NPO センター

生きがいしごとサポートセンター 阪神北

Tel & Fax 0797-87-4350

0797-87-4351

Email [cdc@hnpo.net](mailto:cdc@hnpo.net)

URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>

阪神北 NPO ハウス

〒665-0021

宝塚市中州 1-7-20

ハイツ村上101号

阪急逆瀬川駅から南口方  
面へ徒歩 8 分